

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リニ工訪問看護ステーション船橋保育所等訪問支援事業所		
○保護者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年2月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026/2/19
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026/2/19
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が訪問することで、教育側からの視点と違う視点で対象児について検討することができる	できる限り保育所側と意見交換ができるよう訪問中の声掛けなど注意している	職員の拡充、訪問日の拡充
2	訪問看護と併設されているため、集団での課題点を、個別の訪問看護につなげることができる	訪問看護職員との情報連携をスムーズに行えるようICTの導入	ICT連携だけでなく、カンファレンスの定期開催など情報共有の場を増やしていく
3	児童福祉関連事業に従事している経験が豊富な職員が在籍し、訪問している	職員が経験の中で得た内容を保育所の先生方とも共有し、対象者の集団生活へつなげるようしている	職員教育を進め、経験を積める職員を増やしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所側との日程調整や目標設定の共有の検討	訪問時間内では時間も少なく、保育所側も時間をつくるのが難しくなっている	リモートなどを活用し短時間で情報共有ができる場の提案など
2	契約待機者がいる	訪問員が少ないこと、訪問できる曜日が限られていること	訪問員の増加と受け入れ時間帯の拡充
3	訪問員が少ない、対応できる幅が限定的	経験年数、経験件数の不足	職員教育を行い訪問員の増加